

各階への各課の配置

(※課名は平成29年3月現在)

5階	議場、議会委員会室、正副議長室、議会事務局
4階	教育長室、教育委員室、学校教育課、情報システム課、農政課、農業委員会事務局、大会議室
3階	市長室、市長公室、副市長室、災害対策本部、秘書課、企画課、総務課、新庁舎建設準備室、選管監査事務局
2階	安全安心課、建設課、都市計画課、区画整理課、下水道課、水道課、商工観光課、環境課 市民ギャラリー（屋外テラス）
1階	税務課、納税課、市民課、国保年金課、健康増進課、社会福祉課、いきいき高齢課、児童家庭課、会計課 市民協働スペース

各階配置の特徴

各課を配置するにあたり、平成28年度に来庁者の窓口利用調査を行いました。調査結果を踏まえ、来庁者の利用の多い市民課、国保年金課など上位9課を1階に配置し、ロビー部分は展示などが行える市民協働スペースとして利用できるよう計画しています。2階には災害時の対策の連携を考慮して安全安心課や建設部各課を配置し、3階には災害対策本部と、災害対応の指揮や行政運営等がスムーズに行えるよう、市長室や副市長室、秘書課、企画課、総務課を配置しています。4階には市民も利用可能な会議室を配置し、5階には議場と議会委員会室の配置を予定しています。

【問い合わせ】  
新庁舎建設準備室  
TEL 841・6949  
FAX 84・8431



市役所北東部、長瀬橋方面からの眺め（イメージ）

# 真岡市役所 新庁舎建設事業

新庁舎建設に向けて

現在の市役所本庁舎は、昭和32年10月に建築され、今年で60年となります。老朽化が進み、必要に応じて改修・増築を重ねてきた結果、建物が分散し、利用しづらい構造となっています。

また、平成23年の東日本大震災では、外壁の損傷や天井の落下などの被害を受けましたが、修復を行い利用を続けています。

このように庁舎の老朽化や耐震化、集約化のほか、バリアフリーへの対応等の問題を解消するために、新庁舎建設が必要となりました。そこで、平成28年度から5回にわたり真岡市新庁舎建設市民会議を開催し、市民の皆さんと共に基本設計を進めてきました。

新庁舎は、本市の防災拠点として、今後起こり得る大規模災害に備えるとともに、市民の皆さまにとって利便性の良い建物となるよう建設計画を進めています。

新庁舎は、現在の栃木県芳賀庁舎、真岡労働基準監督署が移転し、その建物を解体した跡地に建設します。また、新庁舎完成後、現在の市役所本庁舎は解体し、跡地を来庁者の駐車場として整備します。この駐車場は、夏まつりなどのイベントでも利用しやすいよう整備していく予定です。

■建設予定

平成30年度後半から建設工事に着手し、平成32年度に開庁予定

■新庁舎規模

延床面積約1万3千㎡  
地上5階建て、免震構造

■総事業費

約76億6千万円（平成30年工事発注時点）  
※東京オリンピックの建設工事や東日本大震災等の復旧・復興事業等による建設資材・人件費の上昇を見込んでいます。

【新市役所敷地略図】

